

見守り 新鮮情報



少しずつ ゆっくりとかんで、 餅での窒息事故を防止!

事例1 自宅で餅を
食べていた
ところ、**のどに詰まら
せた**。苦しがつて数分で
意識を失い、救急車
を呼んだ。救急隊により
餅は取り除かれたが、
死亡した。 (80歳代)

事例2 朝食に食べた餅が**のどに
詰まり、反応がなくなった**。
家族が**救急車**を呼び、口の中から餅を
取り出した。救急隊が到着した時は、呼吸は
できていたが異物が残っていたため取り
除いた。病院に到着した時には意識が回復し、
他に異常がないことが確認されたため、
帰宅となった。 (80歳代)

ひとこと助言

周りの人も見守って!



見守るくん

高齢になると、かむ力や飲み込む力が弱くなるため、特に餅を食べる機会が増える年末年始は、以下の点に注意して窒息事故を防ぎましょう。

- 餅を食べやすい大きさに小さく切っておきましょう。
- あらかじめお茶や汁物を飲んでのどを潤しておきましょう。
- ゆっくりとよくかんで、唾液とよく混ぜ合わせてから飲み込みましょう。
- 高齢者と一緒に食事をする際は、少しずつ口に入れているか、しっかりかんでいるかなど食事の様子に注意を払い、見守りましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第501号 (2024年12月12日) 発行：独立行政法人国民生活センター

長崎市消費者センター (長崎市築町3番18号メルカつきまち4階)

相談専用電話 **095-829-1234** または 消費者ホットライン **188**

時間 **10時~17時 (土日祝も可 月曜定休)**